

## メンバー（機関）を集める

### アンケート調査

どの地域のどんな機関か

高次脳機能障がいに関連したどんな支援を有するか

ネットワークに参画が可能か

## アンケートの設計 医療機関向け

対象は、市内の医療機関、リハビリセンター、保健所、福祉センター、精神科、脳神経科、脳神経外科、脳神経内科、神経内科等の医療科をもつ機関77カ所

- ① 基本情報について（病院名、院長名、連絡先、所在市町村名）
- ② 高次脳機能障害または、高次脳機能障害の疑いのある方が、通院または入院しているか。（診療科）
- ③ 高次脳機能障害の診断をしているか。（診療科）
- ④ 高次脳機能障害の行政的な診断基準に基づいて診断が可能か。（診療科）
- ⑤ 神経心理学的検査及び評価を実施する職員が配置されているか。（担当職種）
- ⑥ 主に使用している検査名（記憶障害、注意障害、遂行機能障害、コミュニケーション障害、病識欠落、社会的行動障害、その他）
- ⑦ 医学的リハビリプログラムとして、認知リハを実施しているか。（担当職種）
- ⑧ 府域の地域相談支援ネットワークへの参画意向について
- ⑨ 公表の可否について

## 医療機関向けアンケート（一部分）

9. 担当している高次脳機能障害の行政的な診断基準に基づいて診断が可能ですか。

診断できる	診断科： 脳神経科、脳神経内科、脳神経外科、脳神経内科、精神科、神経科、神経内科、その他（ ）
今までは診断していないが、診断は可能である。	
診断できない	診断科： 脳神経科、脳神経内科、脳神経外科、精神科、神経科、神経内科、その他（ ）
診断できない（理由）	（ ）

10. 高次脳機能障害の行政的な診断基準に基づいて診断が可能か

診断できる	診断科： 脳神経科、脳神経内科、脳神経外科、脳神経内科、精神科、神経科、神経内科、その他（ ）
今までは診断していないが、診断は可能である。	
診断できない	診断科： 脳神経科、脳神経内科、脳神経外科、精神科、神経科、神経内科、その他（ ）
診断できない（理由）	（ ）

11. 院内より市までの距離について、センターの距離がどのくらいか

10分以内	10分～20分	20分～30分	30分～40分	40分～50分	50分以上
1	2	3	4	5	6

## アンケートの設計 支援機関向け

市内の介護、加齢、精神の介護作業所、通信介護、地域自立支援センター、社会福祉協議会等の74カ所

- ① 基本情報について（事業所名、代表者名、連絡先、所在市町村名、利用者定員、現員）
- ② 職員体制について（職種名、常勤・非常勤別）
- ③ 主な活動内容
- ④ 現在、高次脳機能障害者が利用されているか。（人数、頻度）
- ⑤ 今後、高次脳機能障害者の受入れの可能性について。
- ⑥ 近隣の地域相談支援ネットワークへの参画意向について
- ⑦ 公表の可否について



## 医療機関向け 結果

- ・ 348病院から回答。(回答率 43.7%)
- ・ すでに診断している、診断が可能である病院は、176ヶ所。  
主な診療科としては、リハ科、神経内科、精神科、神経科、  
脳神経外科、内科。
- ・ 検査及び評価担当者がいる病院は、117ヶ所。主な担当  
職種は、OT、ST、心理、精神科医師
- ・ 認知リハを実施している病院は(74ヶ所)、主な担当職種は、  
OT、ST、心理、PT。
- ・ 参画意向のある病院は、64ヶ所。  
(前向きな参加意向は、32ヶ所)
- ・ 公表について、全公表可は242ヶ所、全公表不可は38ヶ所。

## 支援機関向け 結果

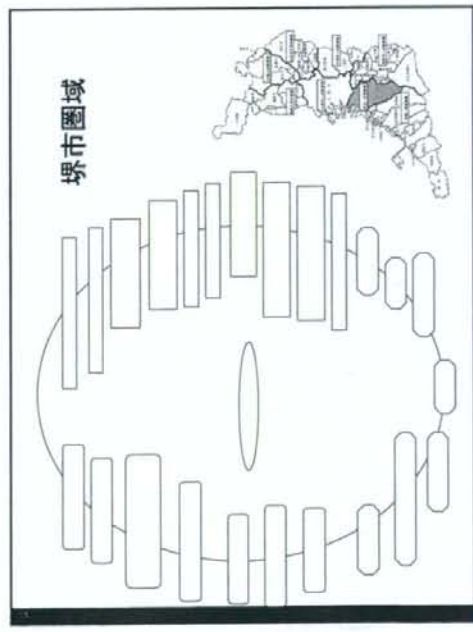
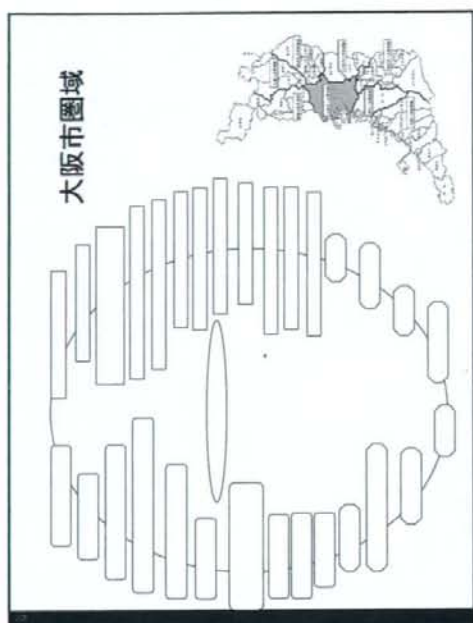
- ・ 390事業体から回答。(回答率 49.1%)
- ・ 受入れ可能、受入を検討する事業所は、267ヶ所。
- ・ 現在、高次脳機能障害者の利用がある事業所は、82ヶ所。
- ・ 参画意向のある作業所等は、93ヶ所。  
(前向きな参加意向は、36ヶ所)
- ・ 公表について、全公表可は330ヶ所、全公表不可は14ヶ所。

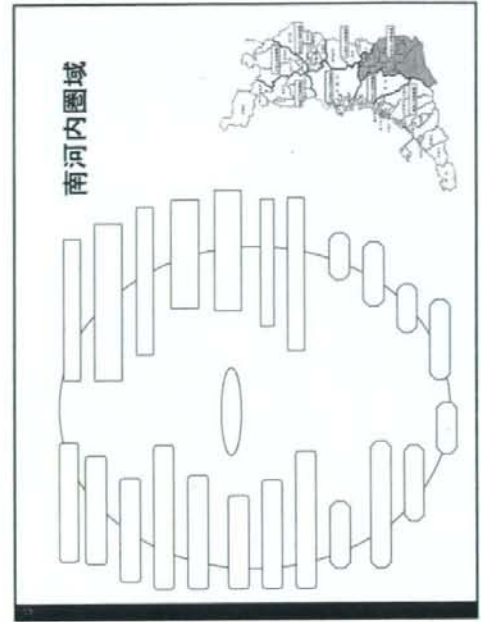
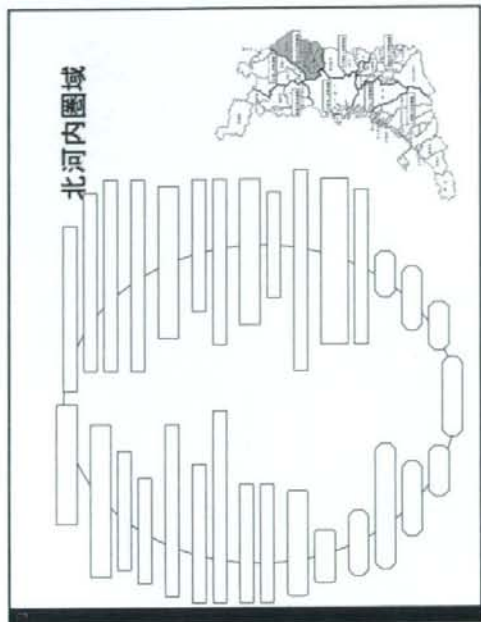
## 参画意向の 医療機関



## 参画意向の 支援機関







# 機関指定とデータベースの公表

アンケートでネットワーク参加意向

データベースの公表についての承諾書



## 泉州圏域



## 承諾書

大連市社会福祉協議会が主催するネットワーク  
地域支援協力機関承諾書

大連市社会福祉協議会が主催するネットワーク  
地域支援協力機関承諾書

貴機関が本ネットワークの地域支援協力機関となること、および本ネットワークに  
参加することを承諾する。本承諾書は、本ネットワークの地域支援協力機関として、本  
ネットワークの地域支援協力機関として参加する機関に、本承諾書が有効となること、本  
承諾書が有効となることを確認する。

〒 \_\_\_\_\_ 市 \_\_\_\_\_ 区 \_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_ 号

代表者名 \_\_\_\_\_

連絡先電話番号 (〒 \_\_\_\_\_) \_\_\_\_\_

連絡先メールアドレス \_\_\_\_\_

承諾書締結日 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

代表者印 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_

代表者印 \_\_\_\_\_

協力医療機関

地域支援協力機関

## 当事者・家族の会

NPO法人、おおきか願損傷者 サポートセンター

堺野損傷者協会

ほっと♡キーキの会

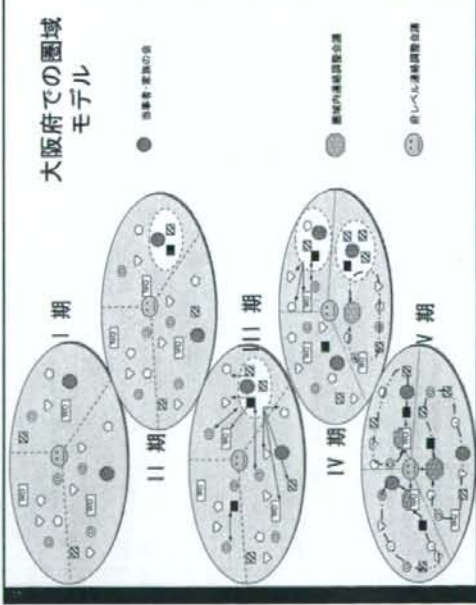
本人同様家族も大きく支援を必要とする状況にある

本人、家族が「声」をあげる場、それを聴く場が少ない

本人、家族への社会資源等の情報共有が少なくない

当事者・家族の会がもつ「ピアサポート」の力

## 大阪府での圏域モデル



## ネットワークメンバー

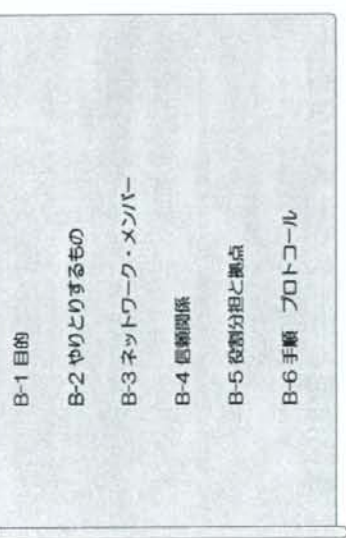


ネットワークは、人的ネットワークと、機関ネットワークに大別  
 (白山)  
 連携は、人と人の信頼に基づく人同士の連携から、機関連携へ発展  
 (白山、傍島)  
 連携と信頼関係は、ネットワークの両輪

## メンバー (人) 連携を築く



## ネットワークの要素



## 圏域別ネットワーク会議

### メンバー（人）の連携

圏域名	内容	日時	備考
豊後	・大府市高小協賛会等がいずみ野南・高橋町の取り組み取次報告 ・関係機関からの支援取次発表 ・情報交換	平成21年11月 28日	セブシ地区
三島	・大府市高小協賛会等がいずみ野南・高橋町の取り組み取次報告 ・関係機関からの支援取次発表 ・情報交換	平成21年11月 28日	
北河内	・大府市高小協賛会等がいずみ野南・高橋町の取り組み取次報告 ・関係機関からの支援取次発表 ・情報交換	平成21年11月 28日	
中河内	・大府市高小協賛会等がいずみ野南・高橋町の取り組み取次報告 ・関係機関からの支援取次発表 ・情報交換(就業会を含む)	平成21年11月 28日	
南河内	・大府市高小協賛会等がいずみ野南・高橋町の取り組み取次報告 ・関係機関からの支援取次発表 ・情報交換	平成21年11月 28日	
泉川	・大府市高小協賛会等がいずみ野南・高橋町の取り組み取次報告 ・関係機関からの支援取次発表 ・情報交換	平成21年11月 28日	
大原市（1次年主催）			
備考	・シンポジウム開催予定 ・関係機関からの支援取次発表 ・豊前におけるネットワーク構築に向けて	平成23年 11月30日	豊前協議会 セブシ地区

## 圏域会議（導入）

問題点を共有

現状の認識

メンバーのもつ課題

ニーズの掘り起こし

どんなことが起こっているのか  
何に困っているか  
何が解決し難いのか  
どんな解決が望まれるか

地域の社会資源を知る

メンバーの仕事内容

メンバーの守備範囲

豊後どんなことをしているか  
どんな人を対象としているか  
どんな解決が望まれるか

社会資源の把握、支援手順のイメージ化

役割分担、立ち位置の相互確認

「誰の誰えら」関係作り

## 圏域会議（初期）

問題点共有（確認）

地域の社会資源（最新に維持）

支援に向けての流れを共有

仮想ケースのシミュレーション

圏域でのディスカッションも紹介

実ケースによるケア会議

初期は圏域会議で検討

役割分担の明確化

拠点機関の分化

支援手順（プロトコール）への汎化

ネットワークの形成へ

## 堺市圏域会議（第1回）

平成20年11月30日

問題点を共有

現状の認識

メンバーのもつ課題

ニーズの掘り起こし

シンポジウム「脳障害者を地域で  
支える一堺市におけるネットワー  
ク構築に向けて」

- ・シンポジウム
- ・堺市福祉福祉局福祉推進課管理福祉課
- ・医療法人ベガリス 高橋記念病院地域  
医療支援課
- ・NPO法人聖徳生活支援センター ナイス
- ・社会福祉法人東の命蓮寺生活支援セ  
ンター フォイト
- ・社会福祉法人障害者福祉事業団 じよぼ  
ライブだいでん
- ・大原市障害者  
・大原市障害者  
・大原市障害者
- ・大原市障害者自立相談支援センター
- ・大原市障害者自立相談支援センター

意見交換

地域の社会資源を知る

メンバーの仕事内容

メンバーの守備範囲

社会資源の把握、支援手順のイメージ

役割分担、立ち位置の相互確認

「誰の誰えら」関係作り



## 堺市圏域会議（第1回）



参加者	
当事者・家族	47
医師関係	17
障がい者支援施設	21
行政機関・自治体関係	9
行政機関・民間関係	3
教育関係	6
市民活動関係	7
その他	7
障がい者団体・リハビ リテーション関係職員	9
堺市圏域会議事務局 事務局職員関係（除く スタッフ）	140名

## 堺市圏域会議（第1回）

アンケート

所属	職種	意見、感想
医療機関	管理職	非常に有意義 25
相談所、区役所 障がい担当課	医師	有意義 18
保健センター	PT・OT	どちらともい えない 0
障がい者支援 施設	ケースワ ーカー	あまり参考に ならない 0
就業・生活支援 センター	行政職	チェックなし 5
就労支援機関	保健師	
就労支援機関	支援員	
当事者・家族	当事者・家族	
その他	その他	

## 堺市圏域会議（第1回）

アンケート

ネットワーク構築に向けての今後の考えなどがわかりやすくよかった。  
高次層の方が抱える問題点や各機関の現時点での対応の状況がわかり大変参  
考になりました。

多様な機関のかたがたがたがたによる話だったので非常に勉強になりました。

他県から来ましたが圏域ネットワークを通じ交流していく事、今後の課題を  
感じました。

身近なところでの支援ということで、各機関での取り組みを聞いて参考に  
なった。だが、まだまだ手探りという感じを受けた。

ネットワークの重要性が叫ばれながらも、どうネットワークを構築していく  
かは難しい課題と感じた。

## 構築する

ネットワーク

最小単位



ネットワークに学習してもらおう

ネットワークに成長してもらおう

出発点

- ・当事者の声
- ・家族の声

### 高次脳機能

意識(覚醒レベル)、注意、遂行機能、記憶、言語、外界(対象・空間)認知、行為・行動、計算、構成、その他いろいろ

### 簡単な高次機能評価テスト

Mini-Mental State Examination (30点満点)と改訂版長谷川式 (30点満点)

解答用紙

名前:                      年齢:                      実施年月日:

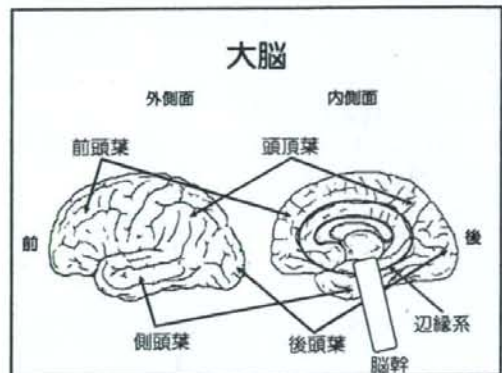
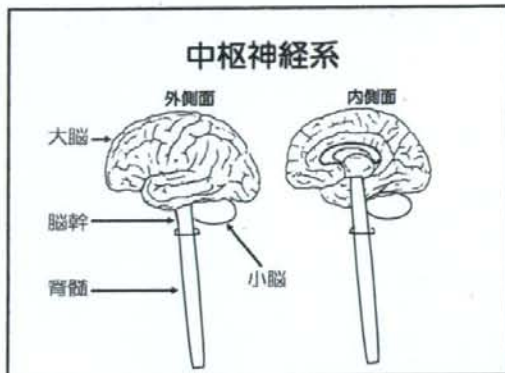
	MMSE	改訂長谷川
1. 年齢	( /0)	[ /1]
2. 時間見当識 (年、月、日、何時頃、季節など)	( /5)	[ /4]
3. 場所見当識 (県、市、市のどの辺、病院名、何階、地方など)	( /5)	[ /2]
4. 数字の逆唱 (数字を聞いて逆に言う)	( /0)	[ /2]
5. 3単語の復唱 (犬、桜、電車など)——このとき3単語を覚えてもらう。	( /3)	[ /3]
6. 文の復唱 (文:みんなで力をあわせて綱を引きます)	( /1)	[ /0]
7. 言語理解 (大きい方の紙をとり、半分に折って、床に置く)	( /3)	[ /0]
8. 物品呼称 (鉛筆、時計など)	( /2)	[ /0]
9. 暗算 (100 から7 ずつ引いてください)	( /5)	[ /2]
10. 3単語再生 (さっき覚えた3つの単語を思い出して言ってください)	( /3)	[ /6]
11. 文字言語の理解 (目を閉じてください)	( /1)	[ /0]
12. 書字 (何かひとつ文を書いてください)	( /1)	[ /0]
13. 5つの物品見せて隠して何か言ってもらう	( /0)	[ /5]
14. 野菜の名前をたくさん言う	( /0)	[ /5]
15. 図形の模写 (2つの重なった5角形)	( /1)	[ /0]
	( /30)	[ /30]

\* MMSE は見当識・言語が多く、構成行為が入っている。改訂長谷川は記憶・遂行機能が多い。

\* MMSE は国際的に使用可能。

\* どちらも前部前頭前野・前頭葉内側面/眼窩面の損傷による症状を捉えにくい。





### (1) 年齢、(2) 時間見当識 (3) 場所見当識

お年はいくつですか？

今年は何年ですか？  
今の季節は何ですか？  
今日は何曜日ですか？  
今日は何月何日ですか？

ここは何県ですか？  
ここは何市（町・村）ですか？  
ここは何病院ですか？  
ここは何階ですか？  
ここは何地方ですか？

意識  
記憶

### (4) 数字の逆唱

これから私が言う数字を逆から言ってください。

4 2 9 → 9 2 4  
7 3 5 8 → 8 5 3 7

言語  
注意  
遂行機能

### (5) 3単語の復唱（と記銘） (6) 文の復唱 (7) 言語理解

これから私が言う3つの言葉を繰り返して言って下さい。  
また、あとで聞きますからよく覚えておいてください。

これから私が言う文を繰り返して言って下さい。

今から私が言うことを良く聞いてそのとおりやってください。  
全部言い終わったら合図しますからそれから始めてください。

言語  
注意

### (8) 物品呼称

これは何ですか？

これは何ですか？

言語  
視覚物体認知

### (9) 暗算

100から7を順番に  
引き算してください。

93  
.....86  
...79  
...72  
.....65

計算  
注意  
遂行機能



### (10) 3単語の再生

さっき覚えてもらった3つの言葉  
を思い出して言って下さい。

記憶



### (11) 文字言語の理解

#### (12) 書字

この文を読んでその指示に  
従ってください。  
「目を閉じてください」

何か文章を書いてください。

今日は晴れで涼しいのんびりしたい

言語  
視覚認知（読字）  
行為（書字行為）



### (13) 5つの物品

5つの物をみせますので、  
覚えてください。

何でしたか？

視覚物体認知  
記憶



### (14) 野菜の名前

野菜の名前をできるだけ  
たくさん言ってください。

大根・・・キャベツ・・・玉ねぎ・・・

言語  
遂行機能



### (15) 図形の模写

この図形と同じものを  
描いてください

視覚認知  
構成行為

